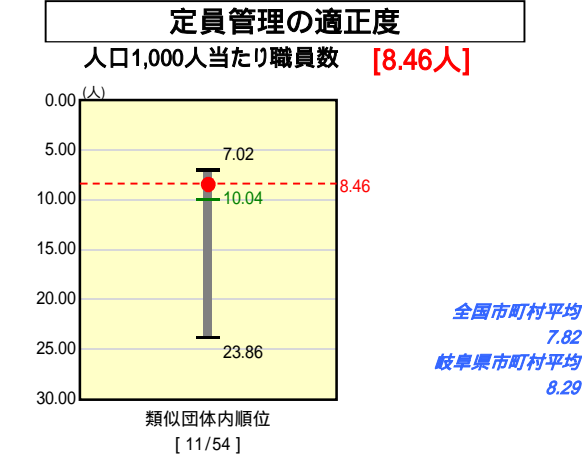
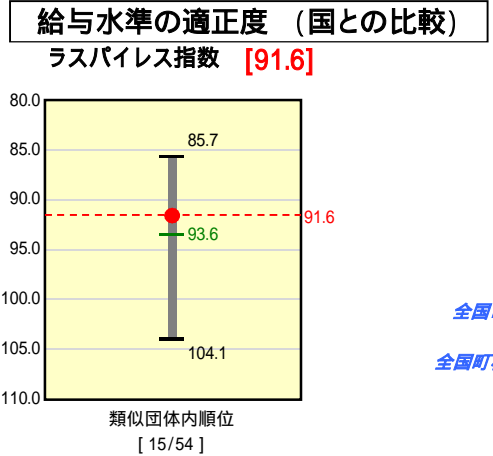
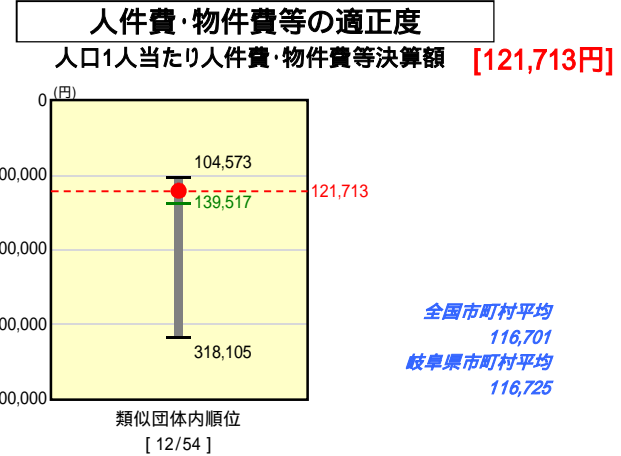
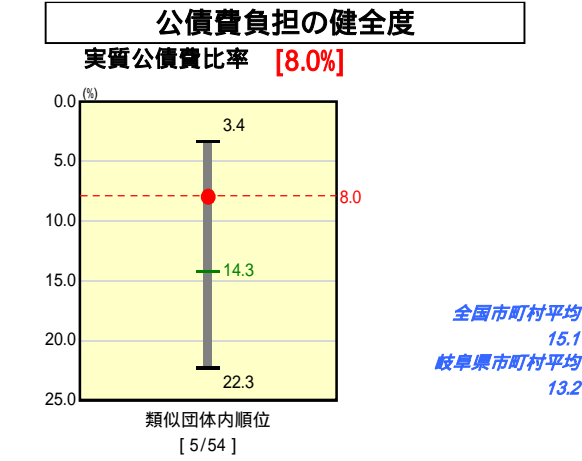
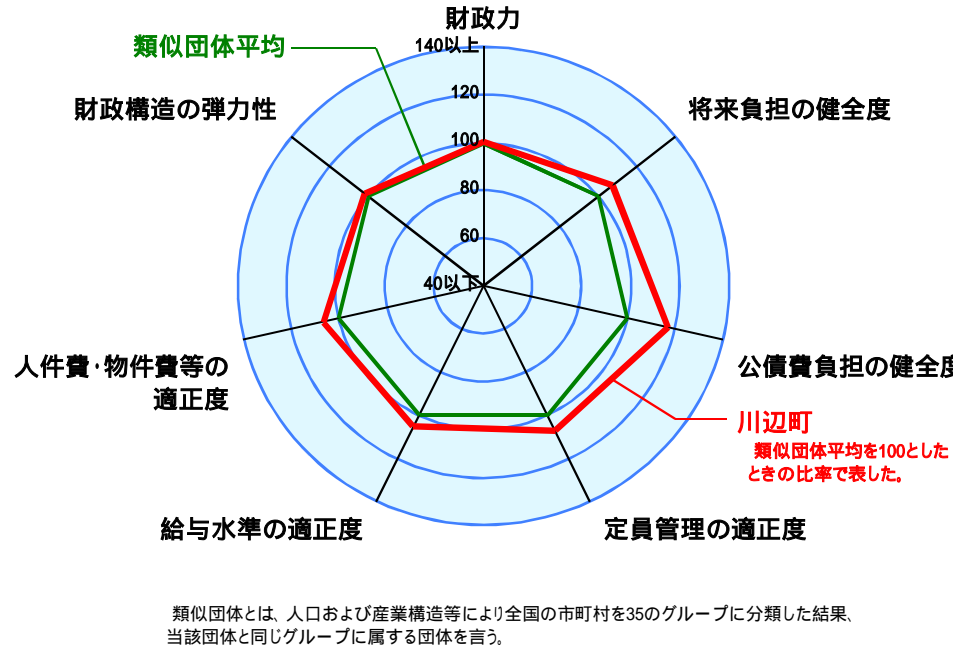
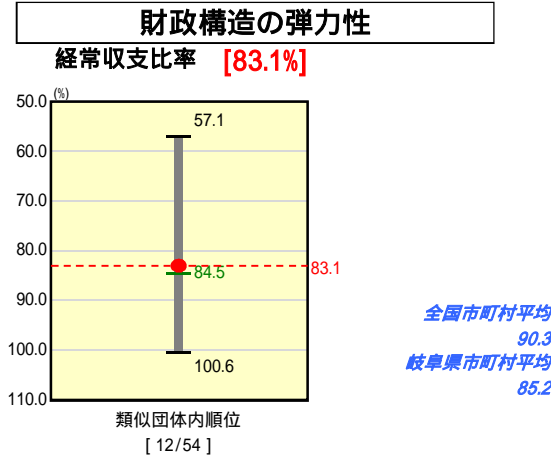
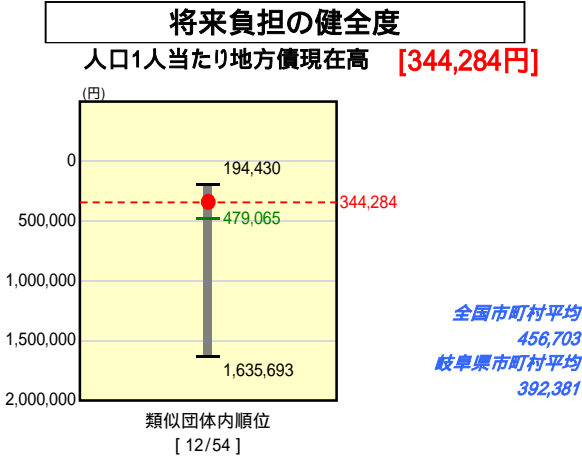
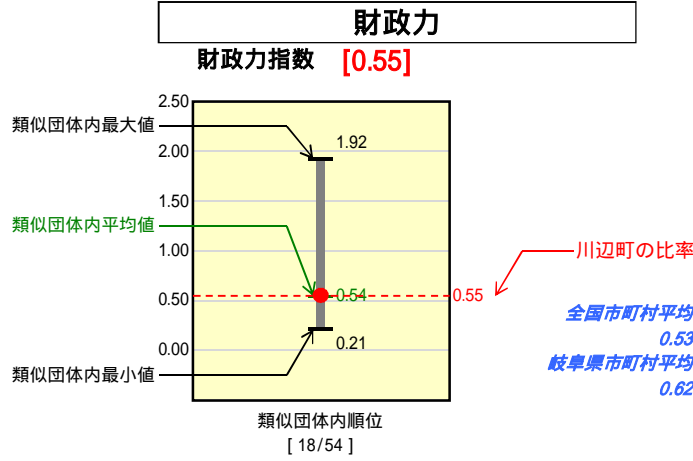


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岐阜県 川辺町

| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 10,874 人(H19.3.31現在) |
| 面積 | 41.18 km ² |
| 歳入総額 | 3,533,331 千円 |
| 歳出総額 | 3,375,288 千円 |
| 実質収支 | 126,225 千円 |



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力】
類似団体平均を若干上回っており、前年度の本町同数値との比較では0.01ポイントのプラスである。これは、徴収努力による歳入の確保などに取り組んだ結果によるものであるが、基準財政需要額の減少による影響という側面もあるため、今後も自主財源の確保など更なる行政改革を推進し財政の健全化を図る。

【財政構造の弾力性】
類似団体平均を若干下回っているが、前年度の本町同数値との比較では1.7ポイントのプラスである。これは公債費の増加、下水道事業への繰出金の増加、医療費の伸びによる扶助費の増加などによるものであり、財政構造の硬直化が危惧される。今後も、これ以上比率を悪化させないために、自主財源の確保とともに人件費などの義務的経費の抑制に努める。

【人件費・物件費等の適正度】
類似団体平均を下回っており、前年度の本町同数値との比較では8,177円のマイナスである。これは、定員適正化計画に沿った職員数の抑制により人件費が減少しているためであり、今後も更なる職員数の適正化に努める。また、物件費においても長期継続契約等の契約方法の見直しにより抑制に努める。

【将来負担の健全度】
類似団体平均を下回っており、前年度の本町同数値との比較では1,223円のマイナスである。これは、東小学校建設事業などの公債費償還が終了したため、今後は地方債残高の増加が見込まれる。新たな地方債の借入れを伴う事業については慎重に取捨選択を行い、高金利の地方債については公的資金補償金免除繰上償還の制度を活用し繰上償還を行う。

【公債費負担の健全度】
類似団体平均を下回っているが、前年度の本町同数値との比較では1.3ポイントのプラスである。これは、下水道整備事業に係る地方債の元金償還開始によるものである。今後も比率の上昇が見込まれるため、新規地方債の発行は慎重に行う。

【定員管理の適性度】
類似団体平均は下回っており、前年度の本町同数値との比較では0.33人のマイナスである。これは、早期勧奨退職制度の活用と新規採用者の抑制によるものであり、今後も適正な定員管理に努める。(平成19年4月1日現在92人)

【給与水準の適正度(国との比較)】
類似団体平均を下回っており、前年度の本町同数値との比較では0.4ポイントのマイナスである。これは国基準よりも管理職手当、期末手当などの支給率を引き下げたことによる行政改革効果である。今後も、適正な給与体系の維持に努める。